創造・参加・実践
No.609

最新のJR西労組運動をチェックしよう!
JR西労組ホームページ
http://www.jrw-union.gr.jp
QRコードでダイレクトニュースを登録して下さい
労働協約改訂交渉や春闘等のJR西労組運動の情報を文字ニュースとして配信します。
※wjru.comをドメイン指定して下さい。

JR西労組 WEST UNION

西日本旅客鉄道労働組合
〒530-0012　大阪市北区芝田2丁目1番18号
西阪急ビル９階
TEL06-6375-9869㈹　JR071-7155㈹
(FAX)06-6373-4133　JR071-7151
発行責任者　荻山 市朗
編集責任者　宮野 勇馬

安全の取り組みを再点検

情報の共有化を図り グループを含めた安全体制の確立を！

中央本部は、６月８日(金)、西阪急ビル地下会議室において、定期中央本部大会にむけ、グループ労組を含めた「第３回拡大安全対策委員会」、及び「第２回拡大業務部長会議」を開催し、各地方本部・本社総支部、グループ労組の担当者らが出席のもと、それぞれ今年度の取り組みの経過報告と今後の取り組みを相互に確認し合った。

第３回拡大安全対策委員会

委員会にはＪＲ西日本連合の鉄道系のグループ労組（ＮＥＳＣＯ、西日本メンテック、大鉄工業、西日本電気テック、広成建設、西日本テクシアの各労組）も出席し、今年度発生した労災や事故の情報を再度共有し、今年度の職場の安全確立にむけた取り組みについて経過を報告した。

とりわけ、昨年12月11日に発生させた新幹線重大インシデントについて、緊急申し入れを行い、経緯や原因、当面の対策等について議論を行っていることや、新幹線問題対策会議を開催していることなど、情報の共有が行われ、新幹線のさらなる安全体制の強化に取り組む方針が確認された。

また、金沢・岡山・広島・福岡の各エリアにおいて、安全ディスカッションを行ったことについて報告が行われた。

さらに、ＪＲ西労組の意見を踏まえて策定された「ＪＲ西日本グループ鉄道安全考動計画２０２２」について、実効性を高めるために検証活動を行っていく方針が確認された。

出席者からは、触車や、あわや感電といった、危険な事象が続いていることについて、強い危機感を抱いているとの問題提起がなされた。

引き続き、「すべてのＪＲ関係労働者の死亡事故・労災事故ゼロ」の完遂にむけ、「ＪＲ西労組安全提言」を活用して、グループ会社を含めた安全な鉄道を作り上げることを確認した。

第２回拡大業務部長会議

同日開催された「第２回拡大業務部長会議」では、２０１７年度労働協約改訂や、２０１８春闘など、今年度取り組んできた業務課題について、経過が報告された。

その後、当面する業務課題の取り組みとして、総合労働協約改訂交渉や、北陸新幹線に関する業務課題、医療部門・バス部門への対応などについて、方針を確認し合った。

また、２０１８春闘妥結時において、会社が「同一労働・同一賃金に対する今後の対応について」、「駅における業務執行体制に対する課題について」課題解決に向けて取り組む、と口頭表明したことに関して、今後の対応方針を協議した。

第２回部会長連絡会議

これらの会議に先立ち、中央本部は「第２回部会長連絡会議」を開催した。各業種別部会の部会長が出席し、各部会における諸活動について、定期的な常任委員会をはじめ、系統ごとの分科会や専門委員会を開催し、意見集約を行っていることなどの報告を受けた。

また、次年度の取り組みとして、定期大会終了後、諸課題について取りまとめを行い、会社と精力的に協議を行っていく方針が確認された。

相次ぐ事象について、対策を協議
第５回新幹線問題対策会議

中央本部は、６月26日(火)、大阪市内において、中央本部及び新幹線協議会幹事会出席のもと「第５回新幹線問題対策会議」を開催した。

新幹線担当である禅野部長は、これまでの経過について説明を行い、「新幹線の体制強化に関する申し入れについて(第２次)【申20号】」、「新幹線専属の組織(新幹線鉄道事業本部の設置について)【申22号】」について、申し入れを提出し、一定の議論を行ったことについて説明した。

６月９日の「のぞみ265号の車内で発生した殺傷事件」については、危機管理のあり方を含め、すでに緊急申し入れを行っていることを報告するとともに、６月14日の「のぞみ176号が博多～小倉間において人と列車が接触した事象」については、会社から一定の説明を受けているものの、現場実態と乖離したものであってはならないと考えており、近日中に申入れを提出する予定であること(６月29日に提出)などが、報告された。

出席者からは様々な意見が出され、相次いで発生した事件・事象への対策に多くの労力が割かれており、部外能力の活用などを検討してほしいとの切実な声が寄せられた。

中央本部は引き続き、新幹線職場で働く組合員の不安を払しょくし、安全確保に全力をあげる。

東海道新幹線 のぞみ265号で発生した殺傷事件に対する緊急申し入れ
(申25号抜粋)

1. 当該事象の詳細を明らかにされたい。
2. 同種事象発生の際、乗務員・パーサーの取り扱いを明らかにされたい。
3. 山陽新幹線の添乗強化も含めた当面の対策を明らかにされたい。
4. 不審者の早期発見や抑止力向上のために、事業者が行うべきことはもとより、部外に協力を依頼することなども含めて対策を検討するとともに、現場に適合した実効性のある内容とすべく、労使協議を徹底されたい。

山陽新幹線 博多～小倉駅間で人と列車が接触した事に対する申し入れ
(申26号抜粋)

1. 当該事象の詳細と課題認識について明らかにされたい。
2. 当面の対策について明らかにされたい。
3. 今回の事象を受け、駅等の教育の考え方を明らかにされたい。
4. 異音の定義を明らかにされたい。
5. 沿線カメラ等のハード対策を整備されたい。
6. 線路内に人等が進入しないよう更なる対策を強化されたい。

三日月知事(2期目) 中田市議(6期目)ダブル当選!!
政策実現に向けて、大きな一歩
滋賀県知事選挙・米子市議会議員選挙

万歳三唱の三日月候補

任期満了に伴う滋賀県知事選挙及び米子市議会選挙が、６月24日投開票された。

三日月候補は、一期目の成果と「健康しが」の実現を訴えるべく、17日間にわたり県内全域を走り回り、中田候補は、米子市に「優しさと活力のある町づくり」を目指し戦ってきた結果、ともに当選した。

三日月知事は、「人の健康、自然の健康、社会の健康をみんなで地方から作りあげていく４年間とする」、中田市議は、「交通政策を町の土台として効率かつ包括的に取り組みをすすめていく」とそれぞれ決意を述べた。

支持者と喜びを分かつ中田候補

両氏とも、ＪＲ西日本・ＪＲ西労組のＯＢであり、今後もＪＲ西労組議員団会議の所属議員として、我々の政策実現に向けた活躍を期待するものである。

精力的にご協力いただいた各級機関の役員、そして京都地本を中心としたアーバンエリアの組合員と米子地方本部の組合員の皆様に感謝を申し上げる。

アフラック〈がん・医療〉団体割引保険
「生きる」を創る。 Aflac
日本人の2人に1人が、一生のうちにがんになると※1言われています
※1 公益財団法人 がん研究振興財団「がんの統計'16」
2.1秒に1人が病気やケガで入院しています※2
※2 厚生労働省「平成27年病院報告」よりアフラック作成
生きるためのがん保険Days1
年齢とともに〈病気・ケガのリスク〉は高まります!
ちゃんと応える医療保険EVER
割安な団体割引扱保険料(*)です
(*)退職等で個別取扱いとなります
<お問い合わせ先> JR西労組指定募集代理店
屋号 MMライフ　西日本生活福祉総合企画株式会社
☎06-6376-1388　[JR]071-7106

なぞなぞ　1.10コの星が ついている 台所用品は なに?　2.よるに きちんとすわって みるものは なに?　3.さわると ケガをする星座って なに座?